



Yankee Harbour

南緯62度32分 西経59度47分—Greenwich島南西

主な特徴

- ゼンツーペンギン
- 広い歩行区域
- アザラシ解体作業の工作物



概要

| | |
|-----|--|
| 地形 | 氷河に縁取られた小さな入り江で、湾曲した砂利の砂洲で囲まれている。広い段々状の海岸地区の東部には融水がたまった湖がある。海岸の奥は、礫石の急斜面が、険しいナイフの刃のような頂きへと続いている。 |
| 動物相 | 繁殖が確認されている種：ゼンツーペンギン (<i>Pygoscelis papua</i>)、ナンキョクオオトウソクカモメ (<i>Catharacta spp.</i>)。繁殖の可能性のある種：サヤハシチドリ (<i>Chionis alba</i>)、アシナガウミツバメ (<i>Oceanites oceanicus</i>)。定期的上陸：ミナミゾウアザラシ (<i>Mirounga leonina</i>)、ウェッデルアザラシ (<i>Leptonychotes weddelli</i>) およびナンキョクオットセイ (<i>Arctocephalus gazella</i>)。 |
| 植物相 | ナンキョクヘアグラス (<i>Deschampsia antarctica</i>)、ナンキョクミドリナデシコ (<i>Colobanthus quitensis</i>)、コケ類、オオロウソクゴケ <i>Xanthoria spp.</i> 、その他の固着性地衣類、ナンキョクカワノリ緑藻 <i>Prasiola crispa</i> 。 |
| その他 | 初期のアザラシ猟の遺物が内海の海岸沿いに見られる。 |

訪問者の影響

| | |
|-------|---------------------------------|
| 既知の影響 | なし。 |
| 潜在的影響 | 野生生物への攪乱、アザラシ猟の遺物への損傷、植生への踏みつけ。 |

上陸要件

| | |
|-----|--|
| 船舶* | 乗客500名以下の船舶。1度に1隻の船舶に限る。乗客200名以上の船舶は1日あたり（午前0時から翌午前0時まで）3隻以内。 |
| 訪問者 | 探検ガイドとリーダーを除き、常に上陸は一度に100名以内。訪問者20名あたりガイド1名。所定の宿泊滞在の関係者を例外として、22時から4時（現地時間）の間は上陸できない。これは野生生物の休息時間確保のためである。 |

訪問者用地区

| | |
|-----------|---|
| 上陸地区 | 砂利からなる砂洲、できれば内海側が好ましい。 |
| 閉鎖地区 | 閉鎖地区A：ゼンツーペンギンが営巣している、融水がたまった湖より高く隆起した台地、およびその上のレキ岩の斜面。 |
| ガイド付き徒歩地区 | なし。 |
| 自由散策地区 | 訪問者は監視のもと、サイト内はどこでも自由散策が許されているが、閉鎖地区は例外である。湾曲した地面沿いに、島南東の氷堆石や北東の氷河の方面へ長距離の散策も可能である。 |

訪問者の行動規範

| | |
|--------|---|
| 陸上での行動 | 南極訪問者のための一般ガイドライン（General Guidelines for Visitors to the Antarctic）に従って行動すること。南西の海岸とペンギンコロニー間の平坦地を移動する時、近くで野生動物の移動がある場合はその通行を優先することに注意する。この地区では、ペンギンの移動を妨げないように、訪問者のグループ間で間隔を維持して移動することを推奨する。アザラシ猟の残骸がある地区の歩行は避けるよう注意し、どのような残骸物も移動させてはいけない。 |
| 注意事項 | 氷河の崩落により危険な波が起きる場合があるので注意すること。 |

採択：2006年
最終改訂：2013年

*：ここでいう船舶とは、12人以上の乗客を運搬する船に限る。



Yankee Harbour

南緯62度32分 西経59度47分—Greenich島南西



上空からのYankee Harbour：上陸海岸を囲む砂利の砂洲



Yankee Harbour上陸地区



内海の海岸で発見された、初期のアザラシ解体のための遺物
(trypot：脂身から油を精製する際使用する金属のつぼ（訳注））

